

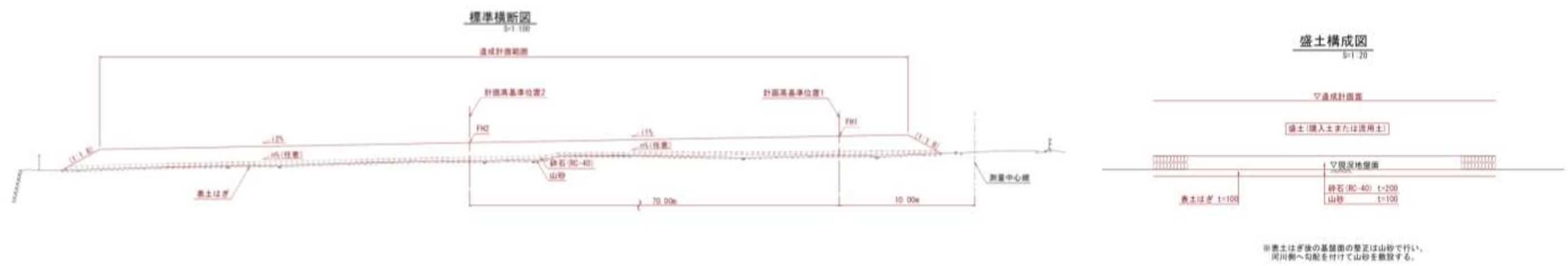
公園センター地区整備の経過

経過状況

| | | |
|---------|--------|---------------------------------------|
| 平成29年 | 7月 7日 | 基本設計者選定のためのプロポーザルの開始 |
| | 8月21日 | 全11者の参加申し込み |
| | 10月 2日 | ティーハウス・グラック・文化財保存計画協会 設計共同体を設計者に選定 |
| | 10月26日 | 公園センター地区(追廻地区)基盤整備開始 |
| | 11月29日 | 公園センター等基本設計開始 |
| 平成30年 | 5月16日 | 公園センター地区(追廻地区)基盤整備完了 |
| | 5月27日 | 公園センター等基本設計最終案ファイナルレビュー |
| | 10月以降 | 公園センター等実施設計開始予定(建物、公園) |
| 平成31年度中 | | 公園センター地区整備工事開始予定 |

公園センター地区整備状況について

追廻の現況

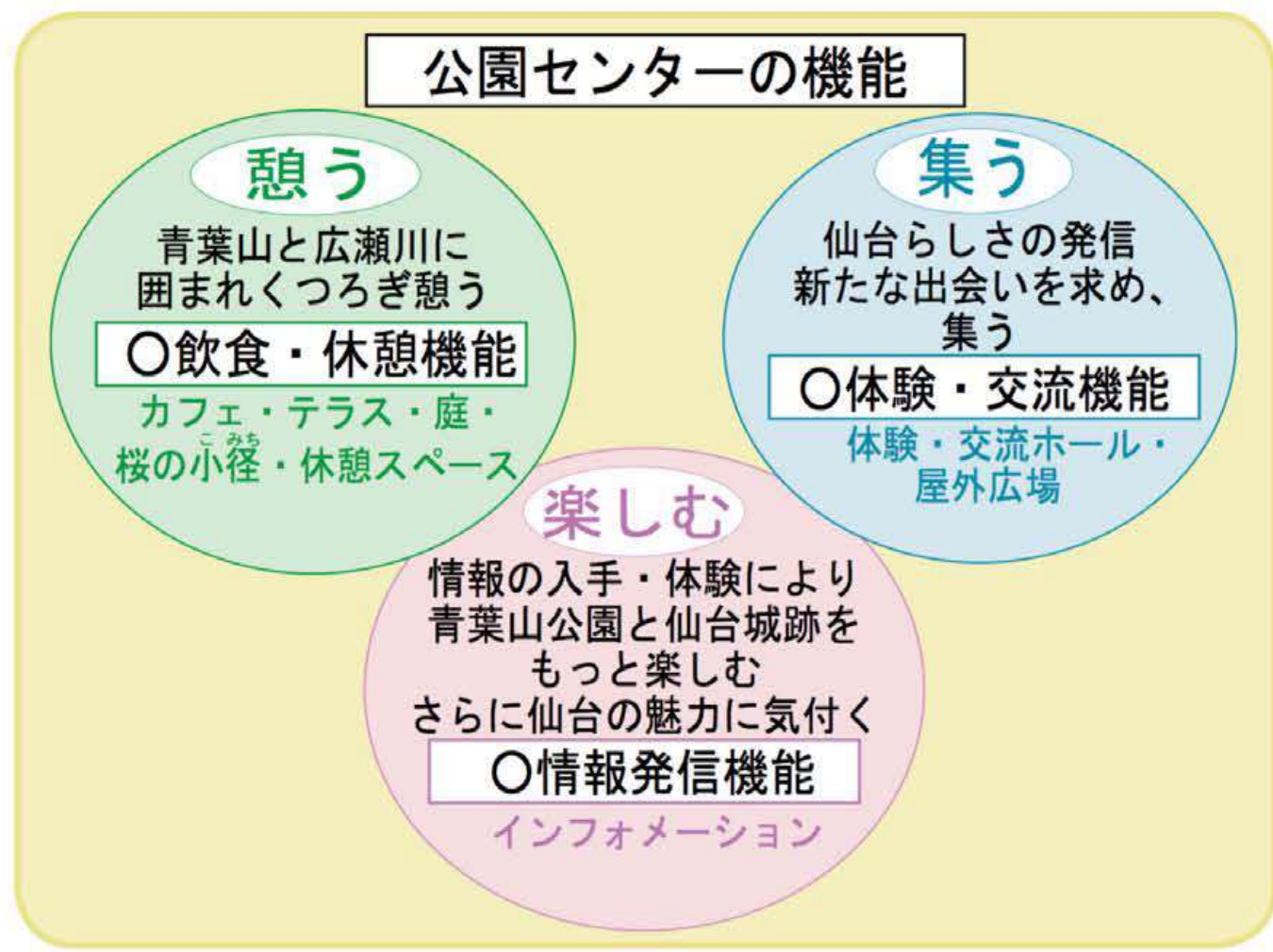


公園センター基本計画における施設整備の考え方
【基礎の検討】
 計画地は、地下に遺構が残っており、遺構を保護するための盛土
 を行い、建物の基礎を盛土の中に収めなければならない。

青葉山公園（仮称） 公園センター基本計画

公園センターの基本コンセプト(青葉山公園整備基本計画に記載)

“青葉山公園、仙台城方面への玄関口にふさわしい、
来訪者に向けた「杜の都・仙台」の歴史文化の発信”



機能コンセプト(青葉山公園(仮称)公園センター基本計画に記載)

デザインコンセプト(青葉山公園(仮称)公園センター基本計画に記載)

ここからはじまる仙台・青葉山の魅力発見

青葉山の自然と仙台のまちにとけこむ、

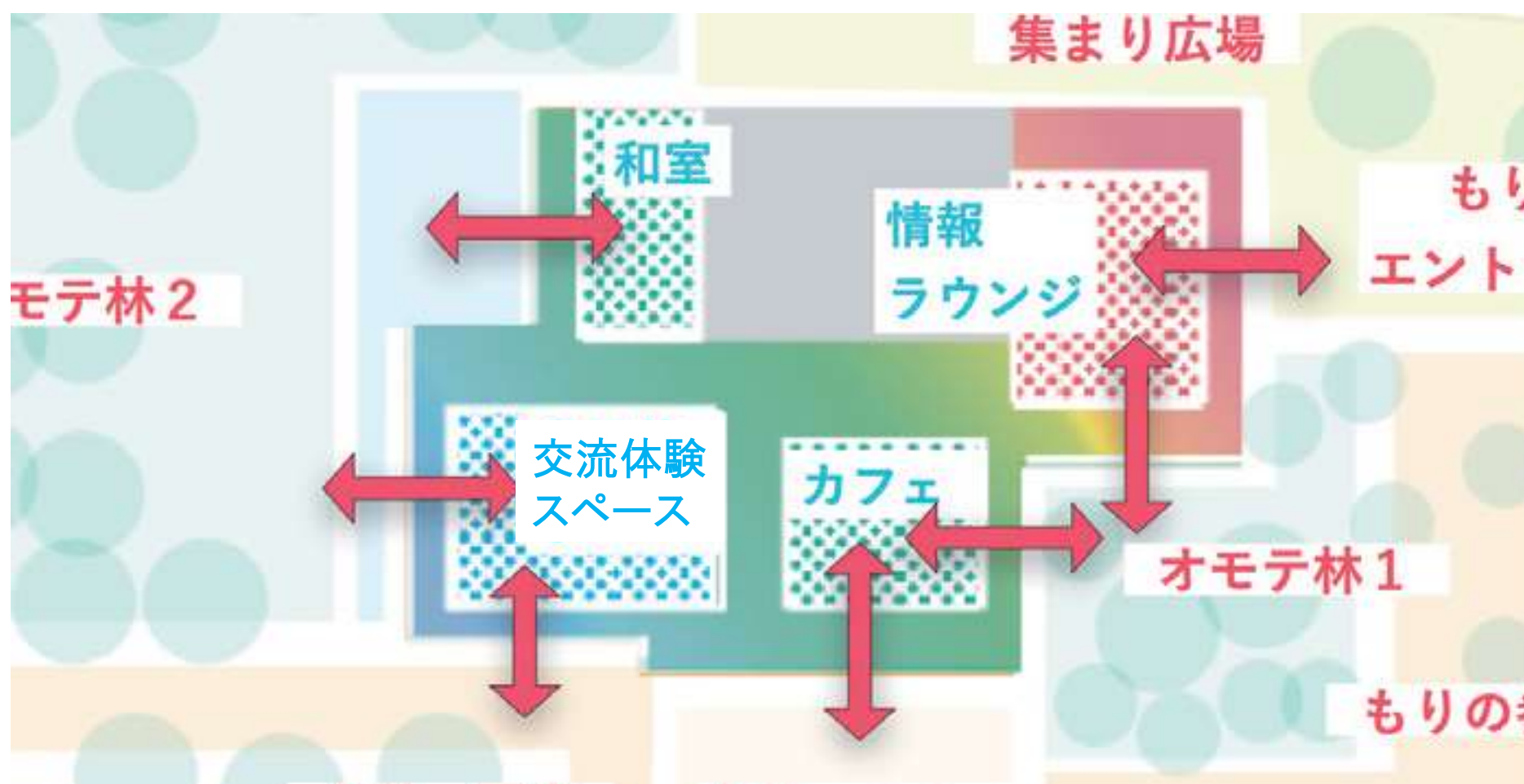
歴史・文化漂うたたずまい

記憶を受け継ぐ建築計画

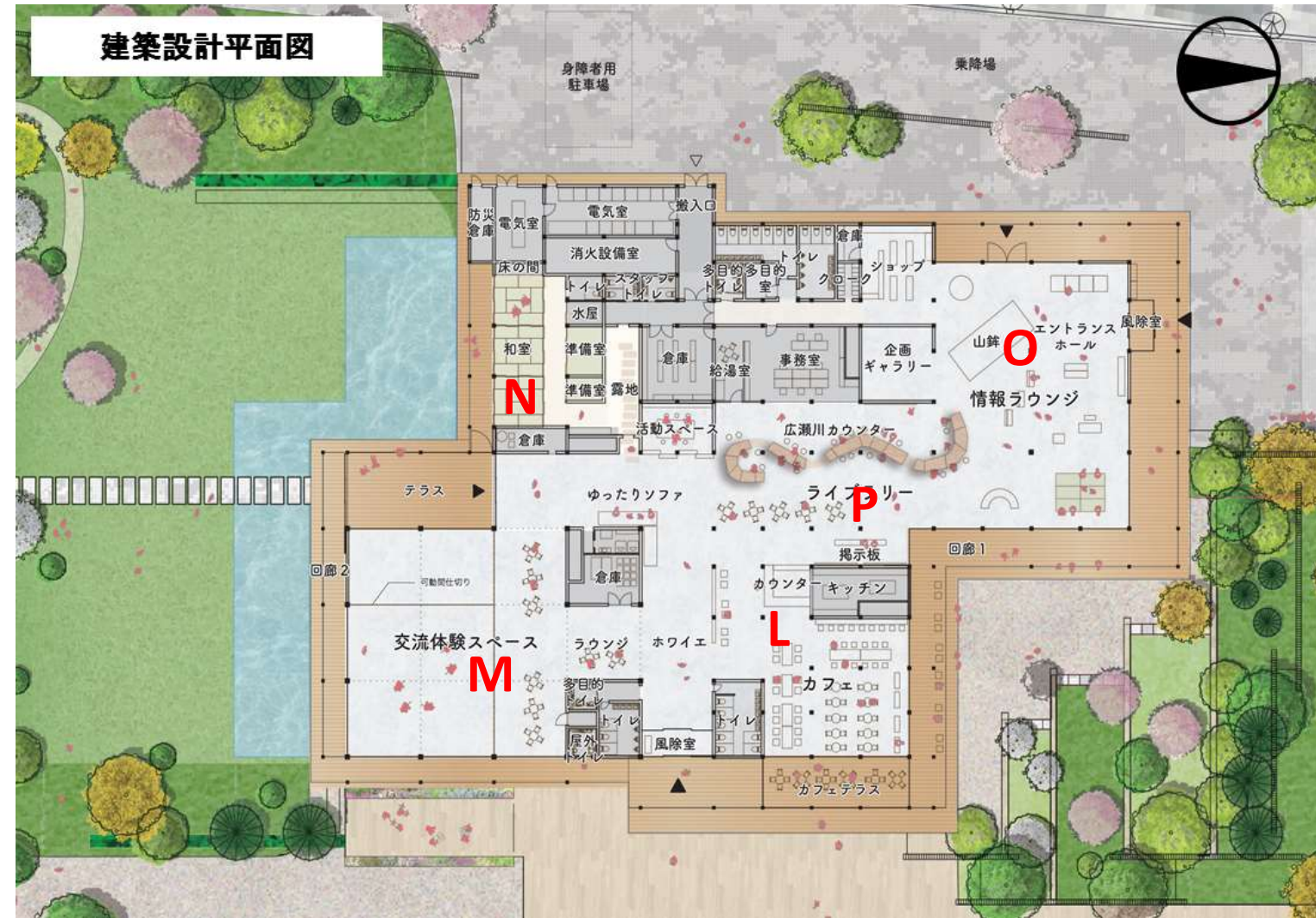
旧片倉屋敷について残された記録から柱割や空間の大きさを継承し、記憶を継承します。重なり合う回廊と屋根は、当時の武家屋敷が大切にしてきた屋内外を空間構成や意匠・素材を駆使してつなぎ合わせる作法を現代に受け継ぎます。



また新しい技術によって地域の素材を最大限活用した木質の空間とします。



公園センター地区整備計画平面図



大橋からの遠景



エントランス広場



広場からの近景